

投資者の皆様へ

2020年3月19日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。直近で海外の株式市場及びリート市場が大幅に下落し、国内株式市場においても下落した影響から、3月19日における弊社の下記ファンドの基準価額が大きく下落いたしました。その要因等についてご報告申し上げます。

1.基準価額及び騰落率(3月19日)

ファンド名称	基準価額	前営業日比	騰落率
ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	10,553円	▲708円	▲6.3%
EXE-i 新興国株式ファンド	8,963円	▲589円	▲6.2%
EXE-i グローバル中小型株式ファンド	10,567円	▲741円	▲6.6%
EXE-i グローバルREITファンド	9,703円	▲845円	▲8.0%
SBI・新興国株式インデックス・ファンド(愛称:雪だるま(新興国株式))	7,262円	▲512円	▲6.6%
SBI米国中小型割安株ファンド(愛称:USリバイブ)	5,799円	▲516円	▲8.2%
SBI米国小型成長株ファンド(愛称:グレート・スモール)	6,522円	▲529円	▲7.5%
グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド(毎月分配型)(愛称:トリプル・プレミアム)	605円	▲118円	▲16.3%

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2. 基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

本レポートに記載のファンドに関する下落要因及び今後の見通しは以下の通りです。

18日の世界の株式市場は、新型コロナウイルスの流行により投資家の不安が著しく高まっていることから、大幅下落となりました。欧州株式市場は、感染対策として人の移動を制限する措置の影響に対する懸念から、主要市場が前日比▲4-5%台の下落となり、米国株式市場においても、ダウ工業株30種平均が一時は前日比▲2,300ドル超の下落と、19,000ドル割れまで下落する局面が見られました。

新型コロナウイルスの感染拡大により投資家の不安が増大しており、金融資産を売却して現金を確保しようとする動きが活発化しました。この影響により、安全資産とされる米国国債や金も大きく売られた一方、外国為替市場では急速なドル高が進行しました。

また、19日の国内株式市場では、海外株式市場の下落を受けて投資家心理が低下し、売り先行の相場展開となりました。この結果、日経平均株価は前営業日比173円72銭(同▲1.04%)安の16,552円83銭で取引を終了しました。

このような国内外市場の下落に伴い、弊社が運用するファンドの組入銘柄の株価も影響を受けたことから、各ファンドの基準価額も大幅に下落しました。

新型コロナウイルスは、欧米での感染者数が急増していることから、各国の中央銀行は金融面の措置を講じており、各国政府も機動的な財政出動に動き始めています。しかしながら、世界経済への打撃の規模が見通しにくいいため、財政金融政策による下支えだけでは投資家心理の好転が見込めない状況になりつつあります。

直近では神経質な展開であるものの、各国の新型コロナウイルスの流行阻止に向けた措置が奏功し、感染拡大に歯止めがかかるとともに、終息に向けた兆候が見え始めれば、株式市場も次第に落ち着きを取り戻し、反発基調に転じる可能性があると考えています。

このような環境下、当社では、引き続き適時適切な運用を行うべく尽力していく所存ですので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。

以上

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.2%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。